

事業完了報告書（実行団体）

| | |
|----------|-------------------------------|
| 事業名: | アウトリーチ型居場所事業～10代の若者の為の居場所確保事業 |
| 資金分配団体名: | 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム |
| 実行団体名: | 一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ |
| 実施時期: | 2020年7月～2021年12月 |
| 事業対象地域: | 岡山県 |
| 事業対象者: | 10代の若者 |

Version 3.2

日付: 2022/1/26

I. 事業概要

| | |
|--------|--|
| 事業実施概要 | ヤングケアラーや、家や学校に居場所が無いなどの理由を抱え、夜の街を歩く10代の若者を対象に、人目を気にせず一時的に避難できる居場所を提供することを目的とし、事業を実施した。本事業において居場所となる車両を購入し、加えて、利用する若者のニーズに対する居場所のニーズ調査を行った。ニーズ調査は当法人の実施するアウトリーチ型の子どもの居場所事業（通称：MUSUBI）の中で実施し、そこに参加する司法書士や弁護士法人に勤める社会福祉士など専門職スタッフと相談事を共有し、若者が望むもしくは緊急性が高い場合は、関係機関に働きかけ、課題の解決に向けて若者に伴走できる居場所となることを目指す為に役立てる。また、居場所に関わるボランティアスタッフの育成・確保に向けた研修会を行った。 |
|--------|--|

II. 課題・事業設計の振り返り

| | |
|-------------------|--|
| 課題設定、事業設計に関する振り返り | <p>■課題設定 保護者の理解が得られない状況下で長時間滞在や宿泊となった場合、未成年誘拐に問われる等法的問題になる可能性があることについて支援者間で協議した。本事業では一時避難のみの対応としていたため問題は生じていないが、将来的に宿泊や夜間利用に関してルールを整える必要がある。</p> <p>■対象設定 夜に街を歩く10代の若者へのニーズ調査を実施できた。気軽に相談できる居場所となるきっかけづくりとして、食糧品・日用品提供のラインナップを見直すことができた。参加しやすい場所や時間帯等も確認できたため、次年度以降の事業計画に反映する。</p> <p>■事業設計 キャンピングカー取得後1回開催できた。実際に開催したところその場での相談対応は困難なことに気付いた。今後は、移動することで新たにリーチできた若者とも複数回顔を合わせられる関係構築に努め、若者がSOSを発した際に即座に対応できる体制をつくる。</p> <p>■プロセスの変化 新規ボランティア獲得と共に既存ボランティアのスキルアップを目的とし、研修を2回に分けて実施した。初回は児童福祉を学ぶ大学生対象に実施し、2回目は既存ボランティアを対象に具体的な対応等に関する研修を実施した。</p> |
|-------------------|--|

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

| ①受益者 | ②課題 | ③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット） | ④指標 | ⑤目標値・目標状態 | ⑥結果 | ⑦考察 |
|--------|--------|---|-------------------|-----------------|------|---|
| 子ども・学生 | 居場所の不足 | キャンピングカーによる移動式の子どもの居場所をつくり、10代の若者が悩み等を打ち明ける場所、安心して休める場所を提供する。キャンピングカー取得予定の12月以前には、MUSUBIにおいて10代若者に対する調査を実施し、支援ニーズを明らかにする。 | 開催回数 | 1回以上 | 1回開催 | ●12月27日に初めて、キャンピングカーを用いて開催した。初めての地域と新たな形態での開催では、①周知広報に力を入れる必要があること、②若者が参加しやすい開催場所の選定が重要であること、③居場所がその地域の若者に認知される開催の積み重ねが必要 等といった点で課題を発見できた。この3点は次年度の事業計画へ反映する。 |
| 子ども・学生 | 居場所の不足 | キャンピングカーによる移動式の子どもの居場所をつくり、10代の若者が悩み等を打ち明ける場所、安心して休める場所を提供する。キャンピングカー取得予定の12月以前には、MUSUBIにおいて11代若者に対する調査を実施し、支援ニーズを明らかにする。 | 利用人数 | 5人以上 | 6人 | ●年末開催ということもあり、参加者が少なかったが、今までのアウトリーチ型の子どもの居場所事業に参加した若者や、県内の子育て家庭が登録するLINEで周知した家庭の高校生が1名、加えて、開催場所の学習支援に来ていた小学生が4名、中学生1名が来所した。新たな参加者を得られたことは成果である。 ●キャンピングカーの狭い空間に入りたいと希望する若者はいなかったことから、車両を利用しながらも、若者が圧迫感を感じることをない場づくりが必要である。 ●参加した一名の高校生は定時制高校に通っており、夜間に開催しているMUSUBIには参加ができず、昼開催である今回が初めての参加となった。今後、昼開催の機会も設けることで、定時制で夜間に登校している学生や、夜間に働く10代の若者と出会うことができるのではないかと考える。 |
| 子ども・学生 | 居場所の不足 | キャンピングカーによる移動式の子どもの居場所をつくり、10代の若者が悩み等を打ち明ける場所、安心して休める場所を提供する。キャンピングカー取得予定の12月以前には、MUSUBIにおいて12代若者に対する調査を実施し、支援ニーズを明らかにする。 | 相談対応人数（全体利用人数の2割） | 2人以上（利用人数の2割程度） | 2人 | ニーズ調査の聞き取りを通して、過去の出来事を話す本人と友人の言葉を、スタッフが傾聴した。複数回参加している若者であり、顔を合わせ、若者の愚痴や、交友関係などの話に耳を傾けるなど、交流を積み重ねた結果だと考えられる。相談支援の機能をもった居場所ではあるが、支援を前面に出しすぎず、前述のようなコミュニケーションを重ねることで、関係性を築き、抱え込まずに相談することができる場となることを今後も目指す。 |

| | | | | | | |
|--------|--------|---|---------------|-------------|-------------|---|
| 子ども・学生 | 居場所の不足 | キャンピングカーによる移動式の子どもの居場所をつくり、10代の若者が悩み等を打ち明ける場所、安心して休める場所を提供する。キャンピングカー取得予定の12月以前には、MUSUBIにおいて13代若者に対する調査を実施し、支援ニーズを明らかにする。 | ニーズ調査件数 | 30件以上 | 37件 | ニーズ調査において、開催ニーズのある場所、時間、必要とする物品などを把握できた。参加した若者の中には、年上の異性の家に宿泊している者もあり、自衛のために避妊具を複数求める声もあった。本事業で車両を取得できたのでニーズの高い地域に向いて居場所を展開することや、避妊具等に性教育や相談先等を記載してパッケージ化したグッズを作成する等、調査で確認した意見を事業計画へ反映させ、若者を取り巻く環境改善を図っていく。 |
| 子ども・学生 | 居場所の不足 | キャンピングカーによる移動式の子どもの居場所をつくり、10代の若者が悩み等を打ち明ける場所、安心して休める場所を提供する。キャンピングカー取得予定の12月以前には、MUSUBIにおいて14代若者に対する調査を実施し、支援ニーズを明らかにする。 | ボランティアスタッフの増員 | 3名以上（2名は女性） | 3名（2名以上は女性） | <p>●2回に分けて実施した。1回目は川崎医療福祉大学の児童福祉を学ぶ学生に対し実施し、2回目は既存ボランティア(大学生)に対し実施した。1回目は、貧困などの社会課題とその対応の必要性を伝えて、活動への参加を促した。2回目は、これまで伝えきれていなかった社会背景等について深掘りし、事業の必要性について理解を促し、活動への意欲向上に繋げた。</p> <p>●今後、ボランティアに「活動に対する希望(活動頻度や関心事等)」を改めてヒアリングすることで、個々のライフスタイルや関心の程度に合わせた活動の場を提供していきたい。ボランティア個々のニーズに合わせた活動の場を提供することで、ボランティアの力を最大限引き出せる環境をつくる。その上で、より深いかかわりを希望するボランティアとは、どういう居場所づくりをしていくかを一緒に考え、ボランティアの主体的な活動を促す。一連の取組を通じて、ボランティア活動の継続性を高めたい。</p> |

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

| | |
|----------------|--|
| 事業実施以降に目標とする状況 | 本助成期間中に作成した事業計画に基づいて、キャンピングカーを使った移動式の居場所づくりを実施する。現在実施している地域だけでなく、ニーズの高い地域や支援団体の少ない地域等においても活動を実施し、10代の若者と出会う場を広げる。気軽に立ち寄り、安心安全に過ごせる居場所を目指す。現代の若者が抱える問題が深刻化する前にキャッチし、相談支援だけでなく、関係機関と連携しながら若者が必要としている支援につなぐ。 |
| 考察等 | <p>本助成期間中に行ったニーズ調査によって、対象とする10代の若者にとって参加しやすい場所、時間、ニーズの高い物品を把握することができたため、事業実施後には、より具体的に10代の若者のニーズに応えることができると考える。ニーズ調査の中で上がった「総社市」では、開催を目指し、市担当者と事業実施に向けた協議の機会をもつことができ、事業実施後に対象地域を拡大する動きへとつなげることができた。また物品については、避妊具に対するニーズが高かった。避妊具を必要とする背景としては、家に居づらさを抱え、異性の友人の家に宿泊することが多く、また、店頭で買いつらいため、自衛の為に持っておきたいといった声が上がっていた。今後は未然に防ぐために、性教育等の取組にもつなげていきたい。</p> <p>キャンピングカーを取得後、他施設でシェルターを新規開設した団体と連携し居場所を開催した。シェルターを有する他団体等と連携し居場所を開催することで、相互に機能を補い合える体制をつくれることに気付いた。今後、同様に連携できる団体の開拓にあたり、開催場所を増やしていきたい。</p> |

V. 活動

| 活動 | 進捗 | 概要 |
|--|------|--|
| 車両の見積り、発注 | 計画通り | 軽キャンピングカーを見積り、発注を行った |
| 必要物品の購入 | 計画通り | キャンピングカーでの実施を見据えた照明、看板などの物品を購入した |
| 実運営に向けた事業計画の作成① ニーズの高い地域をピックアップして開催場所を検討（支援団体の少ない地域など） | 遅延あり | ニーズ調査にて、若者が希望する開催場所について確認した。希望する場所として複数箇所挙がってきたため、一か所ずつ開催に向けて協議を進めている。 |
| 実運営に向けた事業計画の作成② 車両を使って活動できる場所を検討・確保 | 遅延あり | 12月に水島にてプレ開催を実施。次年度総社市にて開催を見据えて動き、2022年1月に総社市にて協議した。 |
| 実運営に向けた事業計画の作成③ 複数の開催場所を視野に入れたスケジュール | 遅延あり | 月に1度第2木曜日に実施している倉敷駅前開催は確定しているが、他地域での開催が調整中であるため、計画が途中段階である。 |
| 実運営に向けた事業計画の作成④ 家に帰れない事情があるなどの10代の子ども達に無料で軽食等を提供する | 計画通り | 10代の若者にニーズを聞き、提供する物品を選定し、寄付で集まった食品や日用品を中心に提供した。軽食があると居場所に立ち寄るハードルが下がりコミュニケーションを促す効果もあると感じているため、次回以降は、コロナの感染予防策を講じた上で、その場で食べられる軽食を提供できるようにしていきたい。 |
| ニーズ調査に向けた調査票の作成（現在「MUSUBI」で使用している利用メニュー表の修正を予定） | 計画通り | MUSUBIで使用している「支援メニュー表（＝提供できる支援の一覧表）」をアレンジし、本事業におけるニーズ調査の調査票として整理した。 |
| 現在MUSUBIを利用している中高生を中心にニーズ調査を実施 | 計画通り | 倉敷駅前にて実施しているMUSUBIにて、ニーズ調査を実施した。具体的には、調査項目を記載した調査票を作成し、項目にそって質問し、直接聞き取る形で調査をした。 |
| ボランティア研修会企画準備、ボランティア募集 | 計画通り | 研修資料の作成、研修対象者を決定した。対象については、1回目を川崎医療福祉大学医療福祉学科の児童福祉コースの大学生を対象に実施し、2回は当法人の既存ボランティアを対象にすることとした。1回目の研修参加者に向けて、研修開催時にボランティア募集をおこなった。 |
| ボランティア研修会の実施（当法人のスタッフによる、新規ボランティア説明会・ワークショップなど） | 計画通り | 1回目を11月19日（金）当法人事務所にて実施し、2回目を11月25日（木）川崎医療福祉大学で研修会を実施した。開催後、実際の活動に繋げるために、当法人の事業に体験ボランティアという形で参加し、継続参加のための連絡取り続け、結果3名のボランティアの獲得に繋がった。 |
| 車両取得、車両を用いた居場所づくりの実施 | 計画通り | 12月27日（月）13:00～16:00 社会福祉法人クムレ「ひろばにじいろ」駐車場にて開催した。 |

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

| | |
|---------------------|---|
| 想定外のアウトカム、活動、波及効果など | <ul style="list-style-type: none"> ●キャンピングカーを用いた居場所を、他団体と連携し開催することができた。今後、DV家庭等とつながった場合に、社会福祉法人クムレのもつ一時避難シェルターを紹介し、その場で繋ぐことが可能となった。共同で開催することで、それぞれの団体を利用する当事者が、新たな支援に繋がれる可能性を開くことができた。 ●LINEで広報した家庭の高校生が、初めて居場所を利用した。今回会場を借りたクムレの職員と過去に交流があった高校生であり、最近疎遠となっていたが、久しぶりに顔を合わせることができ、関係性を再構築するきっかけとなった。 |
|---------------------|---|

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

| | |
|-----------|---|
| 課題を取り巻く変化 | <p>今回実施した10代の若者に対する居場所へのニーズ調査により、アウトリーチ型の子どもの居場所事業に参加した若者と個別に関わる時間が増えた。それによって居場所に対するニーズだけでなく、若者がおかれている現状を知ることができた。具体的には、コロナ禍により、若者の状況は、商業施設の時短営業や休校・部活動停止などの影響で、家以外の居場所の不足がより深刻化していることが明らかとなった。</p> <p>そういった若者の状況を改善するために、本助成で購入した車両を活用し複数地域で居場所を開催することとした。2022年度からは、開催対象地域を岡山県南地域とし総社市等での開催を予定している。これにより、日中の居場所提供については一定程度の対応が可能となった。しかし深夜の居場所や宿泊を伴う緊急避難が必要となるようなケースへの対応については、専門家を交えた体制整備が今後の課題である。</p> <p>当団体としては、今回改めて確認した「コロナ禍でアルバイトを失うなどして生活が苦しくなっている若者」や「退学を余儀なくされた若者」、「中卒・高卒の若者の職業選択の幅の狭さ」という課題に対応していくために、今後、学業・就労支援を強化していきたい。</p> |
|-----------|---|

VIII. 他団体との連携

| 連携先 | 実施内容・結果 |
|--------------------------|---|
| こどもを主体とした地域づくりネットワークおかやま | 居場所運営及び警備、並びに必要となった際に専門的な支援を行うことができる体制づくりを行った。 |
| 社会福祉法人クムレ | 倉敷市水島にある「ひろば にじいろ」において、車両を用いた居場所活動のプレを実施した。今後、必要に応じて、シェルターの利用について協力を得られることとなった。 |

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。(精算金額と一致させる必要はありません)

| | | 計画額 | 実績額 | 執行率 |
|------|-------|-----------|-----------|---------|
| 事業費 | 直接事業費 | 5,000,000 | 5,000,000 | 100.0% |
| | 管理的経費 | 0 | 0 | #DIV/0! |
| 合計 | | 5,000,000 | 5,000,000 | 100.0% |
| 補足説明 | | | | |

X. 広報実績

| 広報内容 | 内容 |
|--------------------------------|---|
| 1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等) | ●山陽新聞にて、キャンピングカーを用いた居場所のプレ開催について、開催翌日(山陽新聞12月28日)に掲載された。 ※添付資料参照 |
| 2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの | |
| 3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法 (事例) | |
| 4.報告書等 | |

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

| ①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む) | 状況 | 内容 |
|---|----------|--|
| 1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。 | 完了 | |
| 2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。 | | |
| 3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。 | 全て公開した | CANPAN上にて、掲載を行っている。 URL : https://fields.canpan.info/organization/detail/1082361229 |
| 4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。 | 変更があり報告済 | |
| ②ガバナンス・コンプライアンス体制 | 状況 | 内容 |
| 1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。 | はい | |
| 2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。 | はい | |
| 3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。 | はい | |

| | | |
|---|--|---|
| 4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置して いましたか。 | はい | |
| 5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しまし たか。 | はい | 未整備であった規定の作成に向け、理事会にて諮り、整備に至った。 |
| 6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可) | <input type="checkbox"/> 外部監査 | 監事を任命しているものに、決算書類を作成後、監査を求める予定(概ね4月ごろ)。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 | |
| | <input type="checkbox"/> 実施予定はない | |
| 7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、 または受領していますか。 | いいえ | |
| 8.内部通報制度は整備されていますか。 | はい | 規定を作成し、コンプライアンス担当理事及び監事を窓口として設置した。 |

XII. その他

| |
|------|
| 自由記述 |
| |